

○「信州こどもカフェ」とは

「信州こどもカフェ」は、地域の大人と子どもとのあたたかなつながりの中で、子どもたちの成長を支え、子どもたちに困難を乗り越えて自立する力を付けてもらうため、学習支援、食事提供、悩み相談、学用品のリユース等により家庭機能を補完する複数機能を持つ子どもの居場所の総称（愛称）

👉 「信州こどもカフェ」のポイント

ポイント1

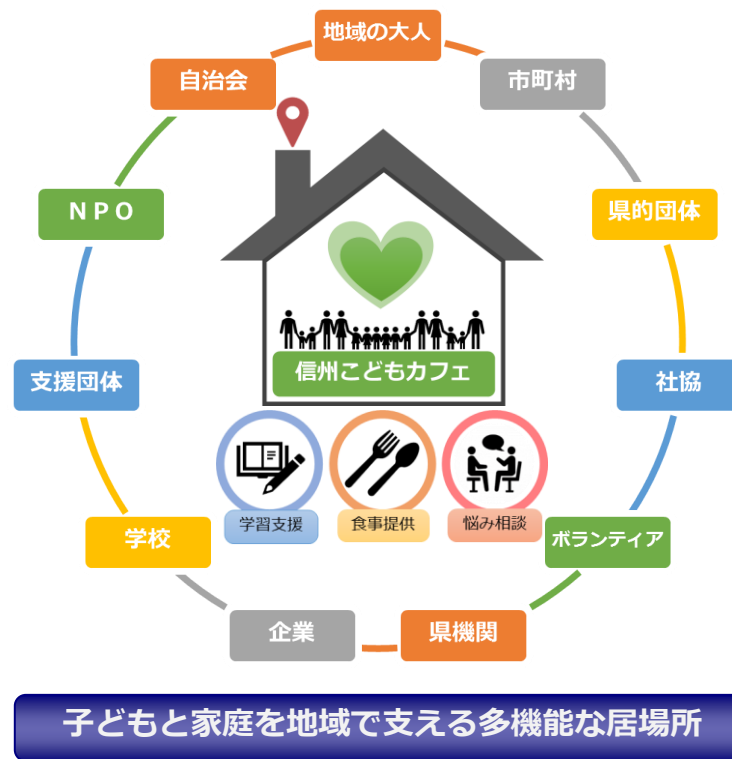
子どもを中心に、大人や地域等にも相乗効果をもたらすような居場所

ポイント2

学習支援や食事提供を核として、悩み相談、学用品のリユース等を実施

ポイント3

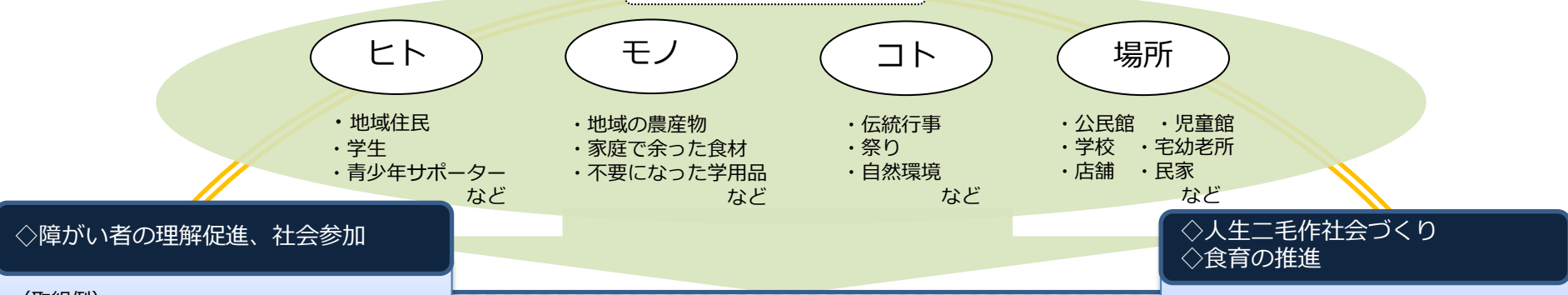
継続して開設し、子どもたちに寄り添った支援を実施



県民文化部、健康福祉部

○こどもカフェを起点とした地域づくり

◇様々な地域資源を活用



◇障がい者の理解促進、社会参加

- (取組例)
- ボッチャなど障がい者スポーツを通じた子どもとの交流
 - 絵や粘土などの作品づくりを共同で実施
 - 福祉施設等を活用した子どもとの食事づくり

◇人生二毛作社会づくり
◇食育の推進

- (取組例)
- 子どもへの学習支援などの担い手に意欲あるシニアが参加
 - 食事作りにボランティアが参画

子どもと家庭を地域で支える
多機能な居場所づくりの促進

信州こどもカフェ

学習支援、食事提供、悩み相談、学用品リユース、
多世代交流、地域での見守り等から複数の機能

◇高齢者の生きがいづくり、社会参加
◇フレイル(*)予防・介護予防

- (取組例)
- ご当地体操による高齢者と子どもの健康づくり
 - 子どもと一緒に農作物づくり
 - 宅老所やサロンでの高齢者と子どもとの交流
- ※ フレイル…加齢とともに筋力や認知機能等が低下し、生活機能障害・要介護状態などの危険性が高くなった状態

- ・取り組みやすく
- ・続けやすく
- ・参加しやすく

地域プラットフォーム



ネットワークの場

- 【主な役割】
- (1) 学習支援員の確保、食材・場所の確保 等
 - (2) 子ども等の課題の行政支援への結びつけ 等
 - (3) 子どもたちへの情報発信